

令和7年度

## 学校評価の結果と考察

生駒市立俵口小学校



## I 学校自己評価の結果と考察

実施対象：俵口小学校 教職員（26名）

実施期間：令和7年12月15日（月）～12月25日（木）

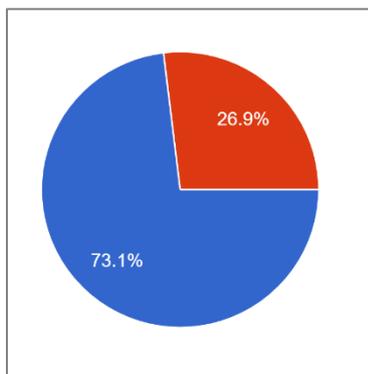
実施内容：「令和7年度俵口小学校学校評価」に基づく全29項目

4件法（はい/ややはい/ややいいえ/いいえ）で実施

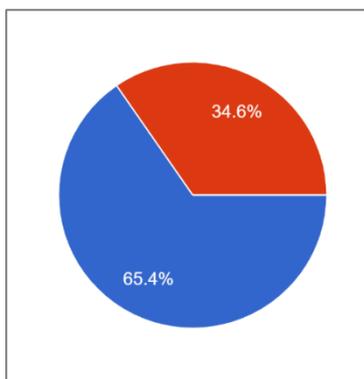
## 学校評価集計（教職員）

## 「考えをみかく」に関するもの

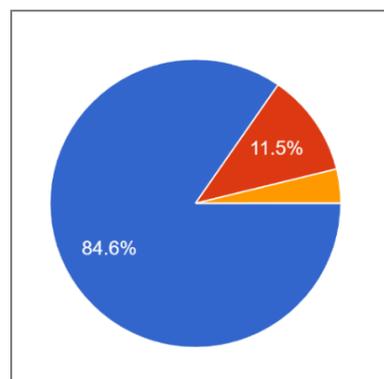
01. 分かりやすい授業づくりのために、教科横断的な視点を踏まえた指導の工夫を行っている。



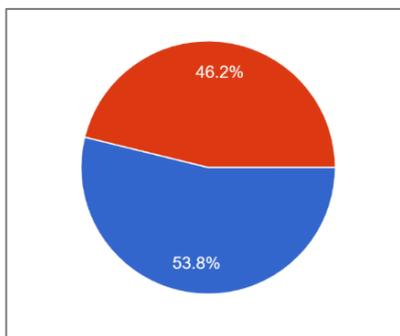
02. 分かりやすい授業づくりのために、根拠や実態を踏まえた指導の工夫を行っている。



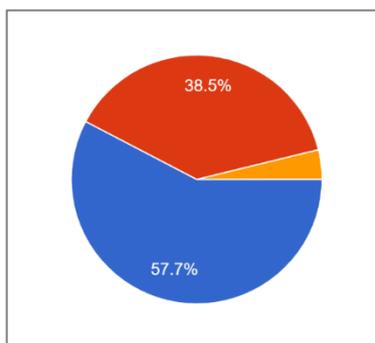
03. 分かりやすい授業づくりや基礎的・基本的な内容の定着、学習評価について学年等で話し合ったり、児童の様子や指導のノウハウの共有をしたりしている。



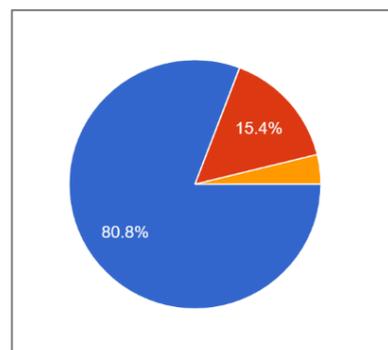
04. 教育活動における ICT 活用やデジタルシティズンシップの育成に努めている。



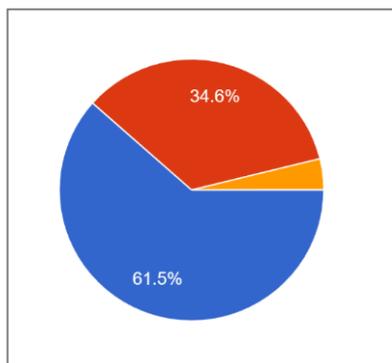
05. 外国語や異文化に関心をもち、これらに親しもうとする態度の育成に努めている。



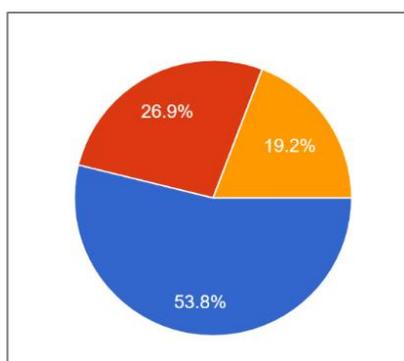
06. 発言の際のルールなど、学習規律の確立を意識している。



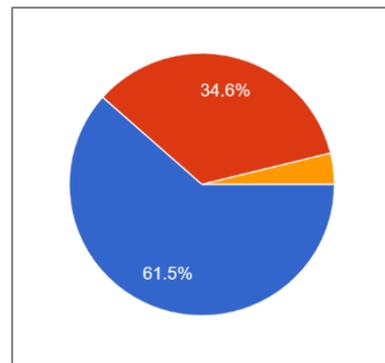
07. 地域の人材や環境を生かした教育活動を進め、児童の地域に対する愛着や、相手への感謝の気持ちの育成に努めている。



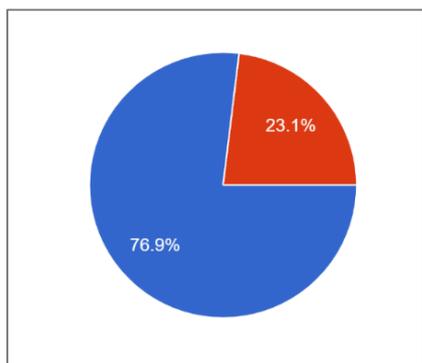
08. 読書活動の充実を図り、読書習慣を育む取組を進めている。



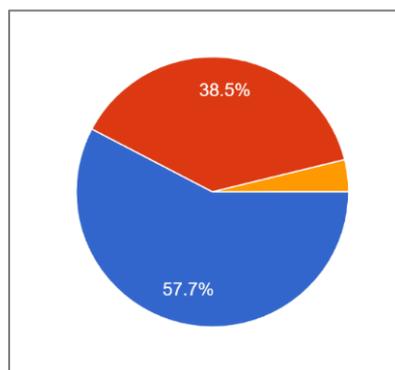
09. 安心安全な教育環境の整備充実に努めている。



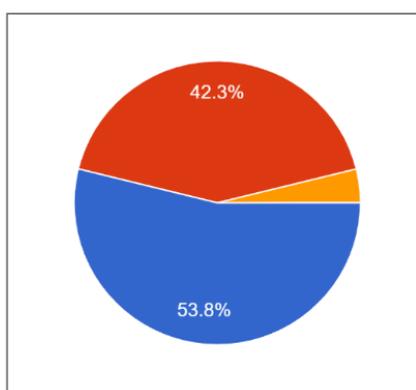
10.児童が質問したり、互いに意見を交流し合ったり、学習の振り返りをしたりするなどして考えを深める場を設け、その充実に努めている。



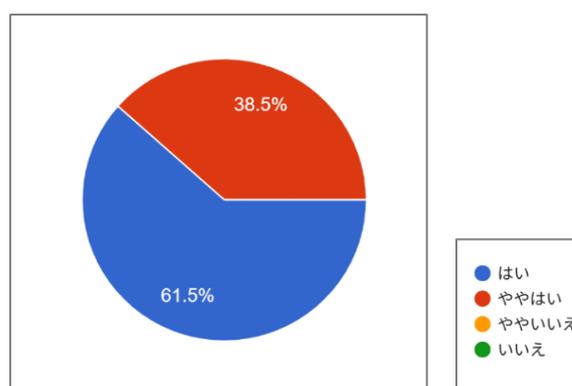
11.児童が学習問題を発見したり、その解決に向けて計画を立てたりする場を設け、その充実に努めている。



12.調べたり体験したりするなどの取組を通じて、児童の思考力や判断力の育成に努めている。



13.学習したこと、練習したこと、調べたこと、考えたことなどを、児童が他者に向けて表現したり発表したりする場を設け、その充実に努めている。



## 考察

「考えをみがく」の項目に関する最終評価では、指標1、指標2、指標4、指標10、指標13において、全てが「はい」「ややはい」の回答（以下、肯定的な回答と言う）となりました。教職員が、分かりやすい授業づくりを目指し、児童の基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、指導法の工夫に積極的に取り組んでいることが読み取れます。また、日々の教育活動の中で、全ての教員がICTの活用を進め、ルールを意識した情報教育に取り組むこともできました。

低学年のうちから、ペアやグループなどで互いに意見を交流し合う学習スタイルが見られ、他者と交流しながら、考えを深める力を着実に積み上げています。また、児童の思考・判断・表現の力を育てるために、筋道を立てて考え表現する活動も取り入れられています。

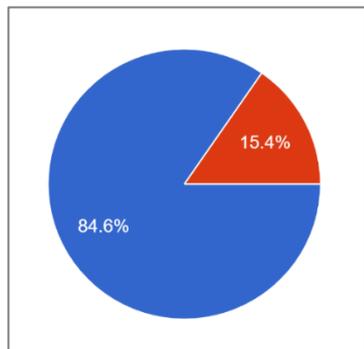
指標5（外国語や異文化への関心）は、中間自己評価の結果に比して肯定的な回答が7.4ポイント上昇しました。ALTやゲストティーチャーの授業を積極的に取り入れ、体験的な学びを多く取り入れるよう努めていました。

指標8（読書活動の充実）に関しては、19.2%の教職員が「ややいいえ」と回答しています。この指標は、中間自己評価でも他の指標に比して肯定的な回答が低かったため、引き続き本校の課題と捉え、全校において意識的に読書活動の推進に努める必要があると認識しています。

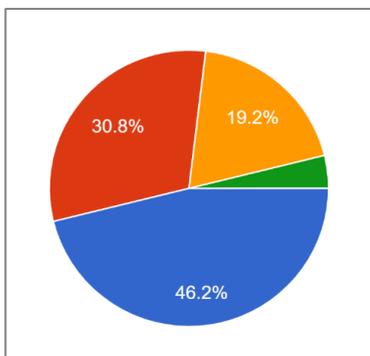
## 学校評価集計（教職員）

## 「心を見がく」に関するもの

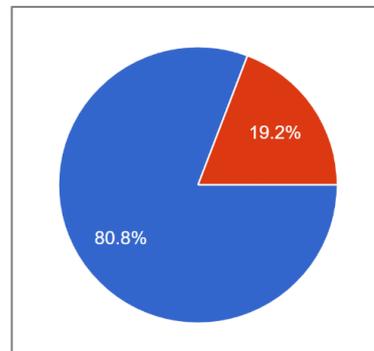
14.児童が楽しく主体的に学校生活を送れるよう、活動や場の充実に努めている。



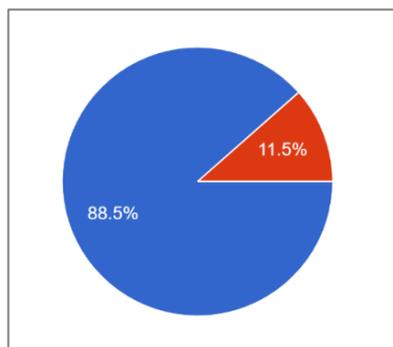
15.幼稚園・保育園・こども園との接続を意識した新入学時の指導の工夫や、中学校との連携を意識した卒業時の情報共有を行っている。



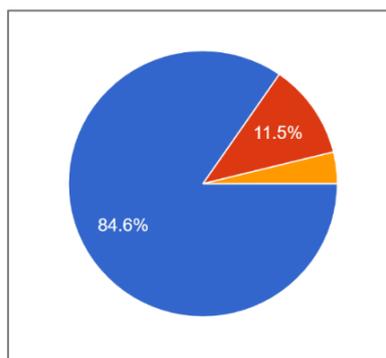
16.お互いが安心安全で気持ちよく過ごせるよう、ルールやマナーを守ることについての指導を継続的に行っている。



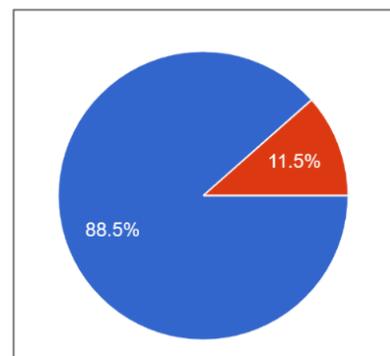
17.児童の日常生活と関連付けながら、道徳性や規範意識の向上に向けた取組を継続的に行っている。



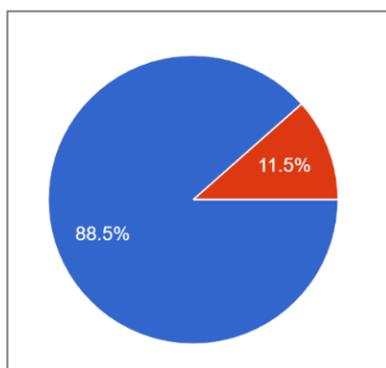
18.悩みや困ったことなどを、児童が相談しやすい雰囲気の醸成に努めている。



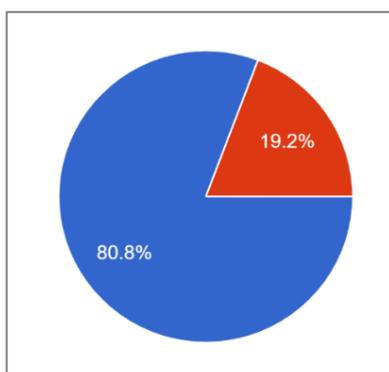
19.児童に関する情報について、一部で抱え込むことなくその共有を迅速的確に行い、問題の早期発見早期解決につなげている。



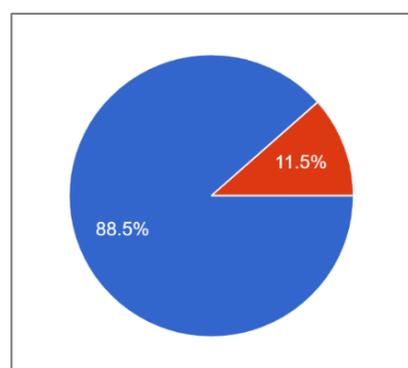
20.いじめや問題行動などに対し、迅速かつ組織的に対応している。



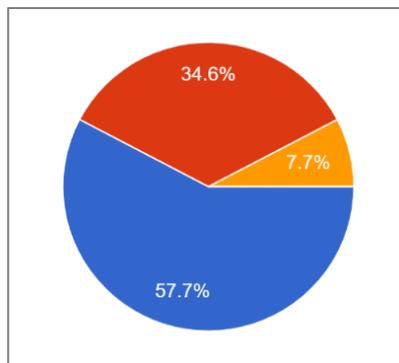
21.欠席や早退など問題があったときには保護者と適切に連携して対応している。



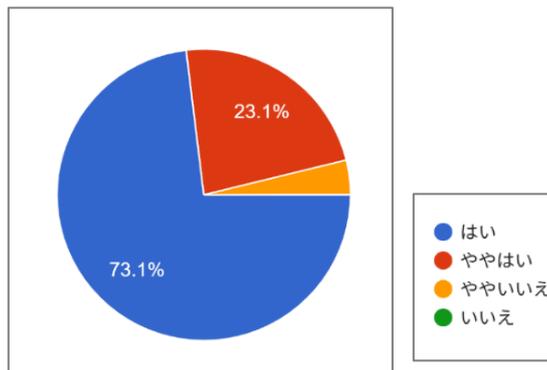
22.児童が自他のよさや成長を発見したり、それを互いに認め合ったりすることのできる場を設け、その充実に努めている。



23.児童の実態や教育的ニーズに合った支援を職員全体で共通理解し、支援を進めている。



24.児童が一人一人の違いについて考えたり、それを互いに認め合ったりすることのできる場を設け、その充実に努めている。



## 考察

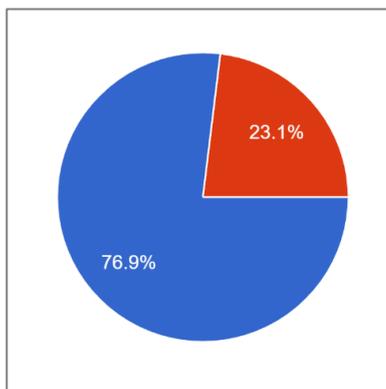
「心を見がく」の項目に関する最終評価では、指標 14、16、17、19、20、21、22において、全てが肯定的な回答となりました。児童が楽しく主体的に学校生活を送れるような寛容・のびのびとした雰囲気や、安心安全で気持ちよく過ごせるような環境をつくるよう教職員が日々努めていると感じます。

特に、児童に関する情報を常に学年間や学校全体で共有し、問題や課題が見られた場合はチームで迅速に対応する意識が高いと言えます。今後も、保護者との連携も丁寧に行いながら、適切な学校運営に努めたいと思います。

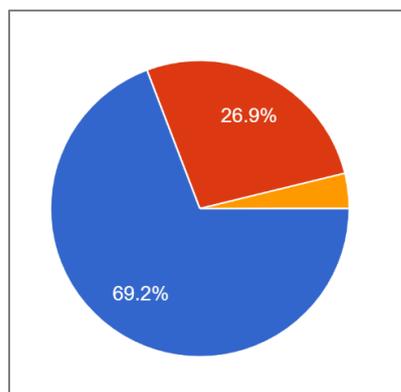
指標 23、24（児童の実態や教育的ニーズに合った支援等）に関しては、「ややいいえ」の回答も見られ、児童一人一人に寄り添ったきめ細かい指導を組織的に取り組めるよう工夫していけたらと考えます。

## 学校評価集計（教職員） 「仲間とみがく」に関するもの

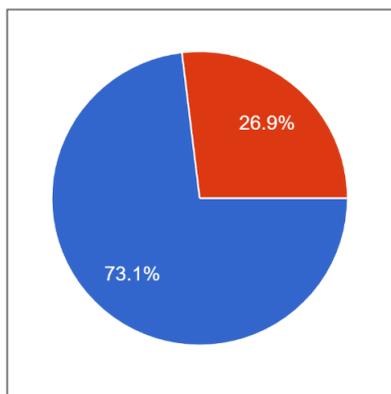
25.児童が互いの思いや考えを表現し合ったり伝え合ったりしやすい雰囲気の醸成に努めている。



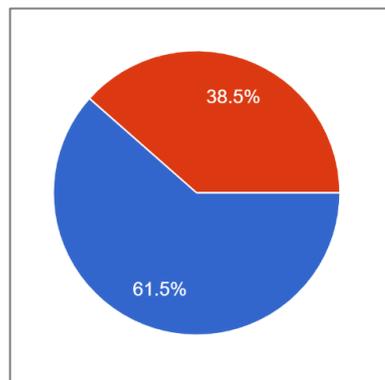
26.班や学級、同学年、異学年など様々な集団で、物事の進め方や問題解決の方法を話し合ったり、話し合ったことをもとに一緒に活動したりする場を設け、その充実に努めている。



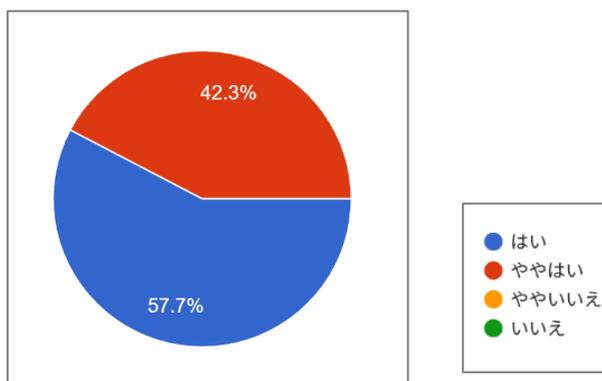
27.班や学級、同学年、異学年など様々な集団での活動において、児童が自己有用感や達成感を得ることができるよう指導の工夫を行っている。



28.児童が楽しく体を動かしたり運動したりすることができるよう指導の工夫を行っている。



29.児童が、体育学習のみならず、たてわり活動や学級遊びなど様々な場面で体力・運動能力向上につながる活動に取り組めるよう指導の工夫を行っている。



## 考察

「仲間とみがく」の項目に関する最終評価では、指標 26（集団活動の充実）を除く各指標で、全て肯定的な回答となりました。

ふれあいタイムを中心とした全校での縦割り活動、高学年児童による委員会やクラブ活動等の活動を通して、児童が自己有用感や達成感を得ることができていると考えます。中間自己評価では、「ややいいえ」の回答が見られた指標 28、29 の（「体づくり運動」の充実）では、今回は全て肯定的な回答となりました。全校で取り組んだ「長縄大会」や体育委員会によるチャレンジ企画等、児童の主体性を生かした体力・運動能力向上の取組を積極的に進めた結果が回答に反映されたと考えます。

これからも、こうした良好な学校風土の醸成に努めたいと思います。

## 2 児童用教育活動アンケートの結果と考察

実施対象：俵口小学校 1年～6年児童

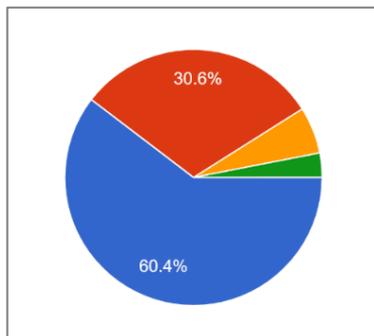
実施期間：令和7年12月2日（火）～12月12日（金）

実施内容：「令和7年度俵口小学校学校評価」に基づく全14項目

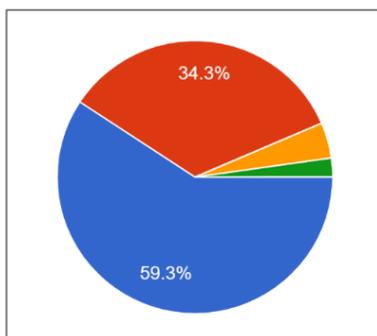
4件法（はい/ややはい/ややいいえ/いいえ）で実施

## 学校評価集計（児童） 「考えをみがく」に関するもの

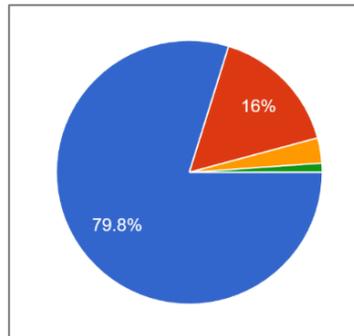
01.授業に進んで参加し、学習した内容が分かる。



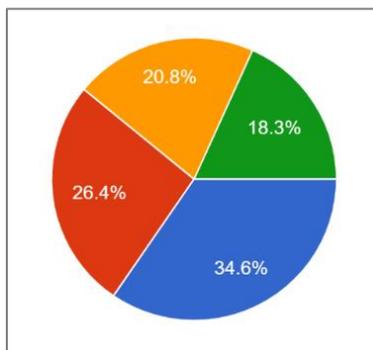
02.発表のしかたなどのルールを守って学習している。



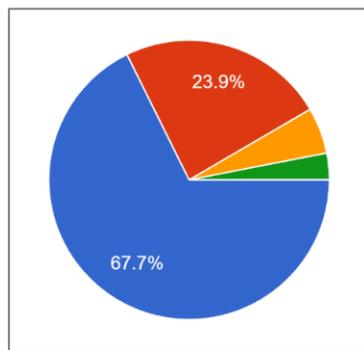
03.登下校のときや図書室に行ったときなど、地域の方に学校生活や学習を支えてもらっていることはうれしい。



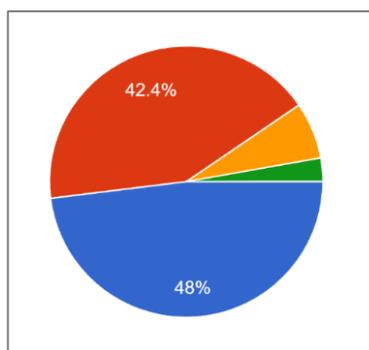
04.進んで本を読んでいる。



05.学校では安心して安全に学習することができる。



06.学習や毎日の生活では、やり方や思ったことなどを自分で考えるようにしている。



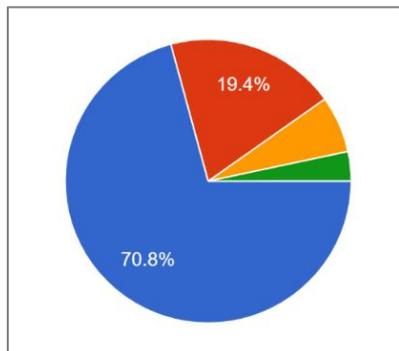
### 考察

「考えをみがく」の項目に関する評価では、6指標中5指標で肯定的な回答が90%を超えました。特に指標3（地域の方々とのふれあいやつながり）では8割近くの児童が「はい」と回答しており、地域の方々の支えを実感していることが分かりました。また、指標2（学習規律の維持）、指標5（安心安全な学習環境）に関しても、多くの児童が良い実感を抱いていることが読み取れます。

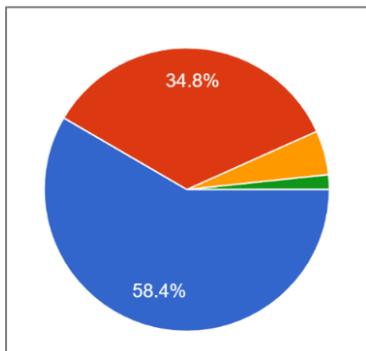
一方、指標4（読書に関するもの）では、「ややいいえ」「いいえ」の回答（以下、否定的な回答と言う）が39.1%となりました。読書については、学校司書やボランティアによる読み聞かせや読書週間等の取組を進めているところです。教職員のアンケートでも読書活動の推進は課題となっており、全校的な取組の具体を考える必要があると感じています。

## 学校評価集計（児童） 「心を見がく」に関するもの

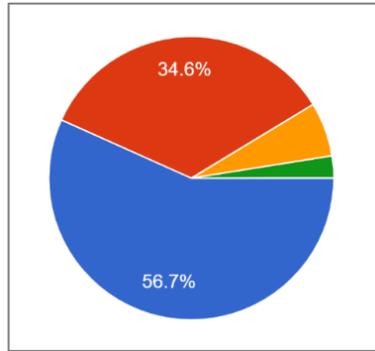
07.学校で楽しく過ごしている。



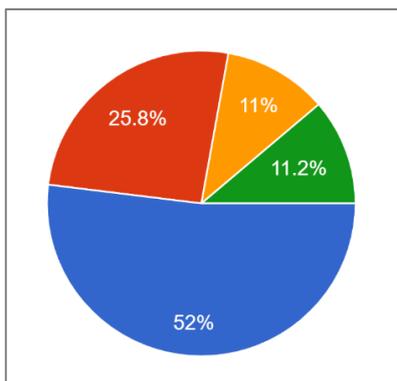
08.自分も友だちも気持ちよくすごせるよう、学校のきまりを守っている。



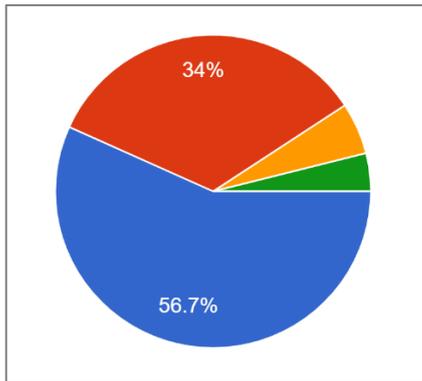
09.してよいことや、してはいけないことを考えて過ごしている。



10.悩みや困ったことがあったときは、先生たちに話したり相談したりすることができる。



11.先生たちや友だちは、自分のことや自分が努力したことを分かってくれる。



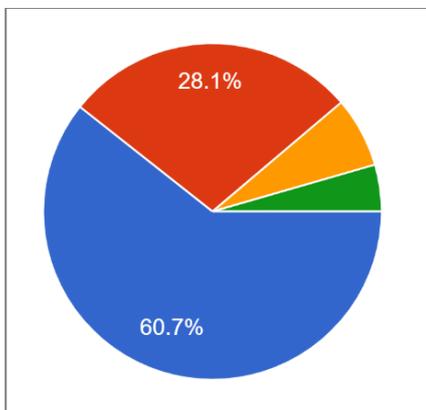
### 考察

「心を見がく」の項目に関する評価では、5指標中4指標において肯定的な回答が90%を超えました。指標7（学校で楽しく過ごしている）では、70.8%の児童が「はい」と回答しています。また、指標8（きまりを守る）、指標9（善悪を考えて過ごす）、指標11（自分のことを分かってくれる）でも、6割近くの児童が「はい」と回答していることより、児童が学校のきまりを守って、楽しく学校生活を送っている様子や、受容的かつ親和的な環境を実感していることが読み取れます。

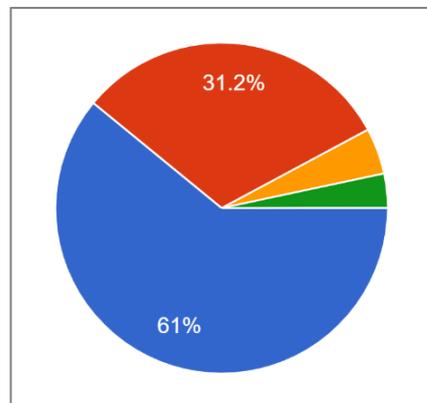
一方、指標10（悩み等を相談できる）では、21.2%の児童が否定的な回答をしています。複数の教職員が児童に関わる状態をつくり、児童のSOSを敏感に感じ取って、思いを受け止められるよう引き続き努めたいと思います。

## 学校評価集計（児童） 「仲間とみがく」に関するもの

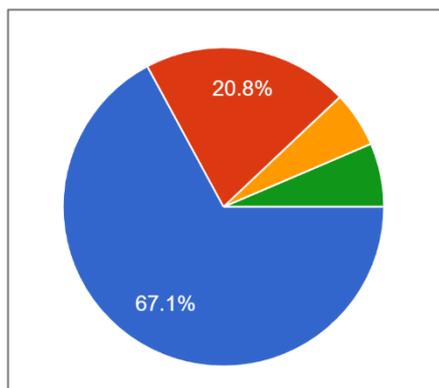
12.グループやクラス、ふれあいタイムなどでの話し合いや活動に進んで参加している。



13.係や当番の活動、クラブ活動（4・5・6年生）、委員会活動（5・6年生）などを通して、みんなのためにがんばっている。



14.体育の時間やふれあいタイム、休み時間などには、楽しく体を動かしている。



### 考察

「仲間とみがく」の項目に関する評価では、3指標とも9割近くの児童が肯定的な回答をしています。多くの児童が、自分のクラスをはじめ、ふれあいタイム等のたてわり活動やクラブ、委員会活動などの異学年集団での活動を通して、いきいきと活動していることが分かります。児童の主体的なアイデアを生かし、自己有用感や達成感がもてる活動をこれからも支援していきたいと考えます。

一方、否定的な回答も1割程度見られることから、児童一人一人の思いや特性を理解し、どの子も満足して活動できるよう、きめ細かな支援を続けていきたいと思えます。

教育活動アンケート（児童）には、各評価指標に加え、学校生活全般に関する自由記述を設けました。回答者保護の観点から個々の記述の公表は控えますが、その内容を教職員で共有し、よりよい学校づくりに役立てていることを、併せてご報告いたします。

### 3 保護者用教育活動アンケートの結果と考察

実施対象：俵口小学校 1年～6年の保護者（1家庭につき1名）

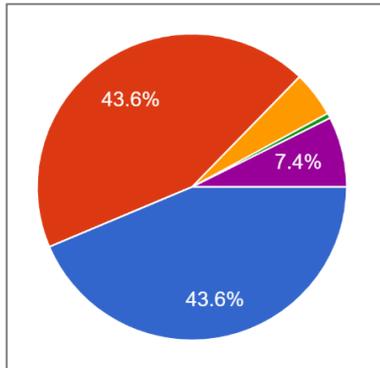
実施期間：令和7年11月28日（金）～12月8日（月）

実施内容：「令和7年度俵口小学校学校評価」に基づく全13項目

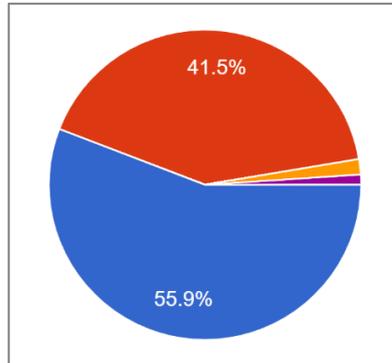
5件法（はい/ややはい/ややいいえ/いいえ/わからない）で実施

## 学校評価集計（保護者） 「考えをみかく」に関するもの

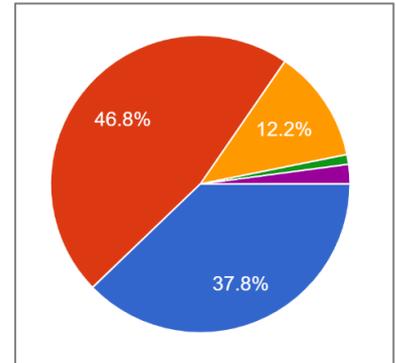
1.学校は、子どもたちや保護者の願いに応えた教育活動を行っていますか。



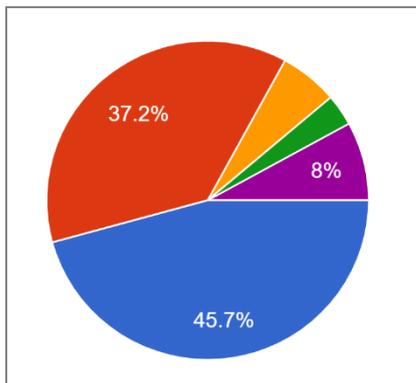
2.学校は、たよりなどで教育活動を分かりやすく伝えていきますか。



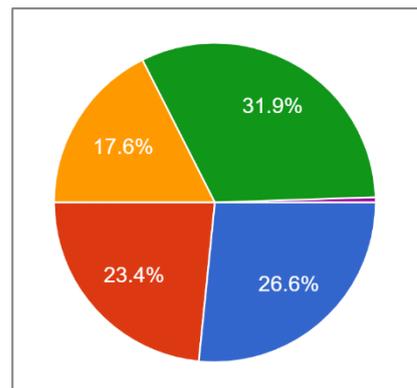
3.お子様は、学校で学習した事柄をおおむね理解できていますか



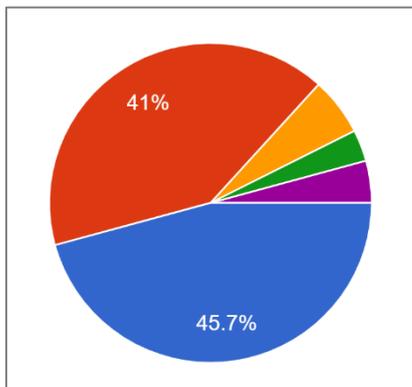
4.学校は、登下校の見守りや図書ボランティアなど、地域の人材や環境を生かした教育活動を行っていますか。



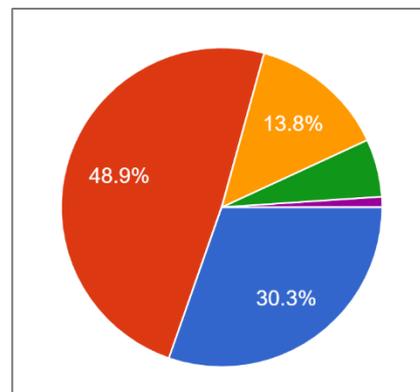
5.お子様は、ご家庭で読書をしていますか。



6.学校の環境は、お子様が安心して安全に学習活動に取り組めるよう保たれていますか。



7.お子様は、学習したことについて話したり、学習したことをもとに自分でやり方を考えたりしていますか。



## 考察

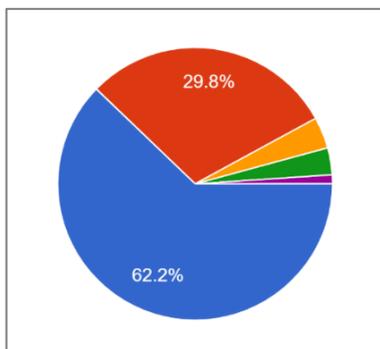
「考えをみがく」の項目に関する評価では、指標2（教育活動の伝達）で肯定的な回答が97.4%となり、学校だよりや学年だより、ホームページやX等の広報活動により、本校の教育活動の状況が一定程度保護者の皆様と共有できていると感じています。

また、指標4（地域人材や環境を活用した教育活動）では、82.9%で肯定的な回答を得ました。放課後子ども教室や俵小フェスタ等の取組をはじめ、車椅子バスケットや盲導犬に関する福祉の学習や防災等の環境学習、全校での音楽鑑賞会など、様々なゲストを招いての体験的な学習を展開することで、児童の深い学びへつなぐことができました。

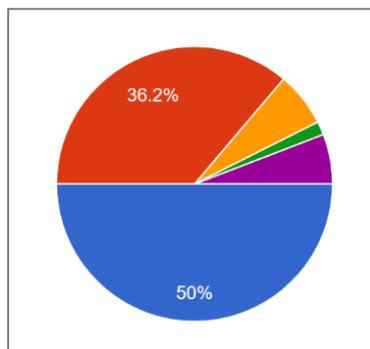
一方、指標5（家庭における読書）では、肯定的な回答が50%に留まりました。学校での読書活動の推進に加え、ご家庭でも読書への児童の関心が高まるようなご支援をいただけるとありがたく思います。

## 学校評価集計（保護者） 「心をみがく」に関するもの

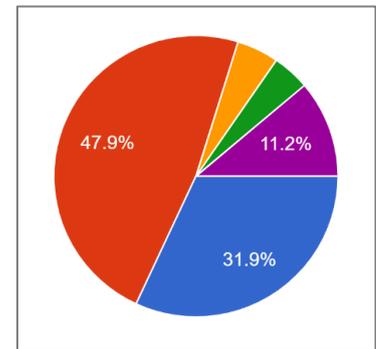
8. お子様は、学校生活を楽しんでいますか。



9. 学校は、ご家庭と連携しながら、お子様の成長を支援したり、問題解決に向けて対応したりしていますか。



10. お子様は、先生たちや友だちは、自分のことや自分が努力したことを分かってくれると言っていますか。



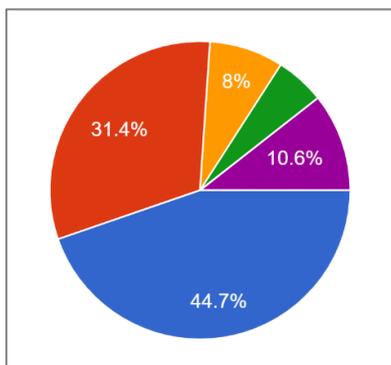
## 考察

「心をみがく」の項目に関する評価では、指標8（学校生活を楽しんでいる）の肯定的な回答が92%となりました。多くの保護者の方が、児童の学校生活全般が順調に行われていると捉えていただけていると考えます。一方で、否定的な回答も見られることより、楽しくないと感じている要因をつかみ、児童一人一人が楽しく有意義な学校生活を送れるよう、丁寧な指導を心がけたいと思います。

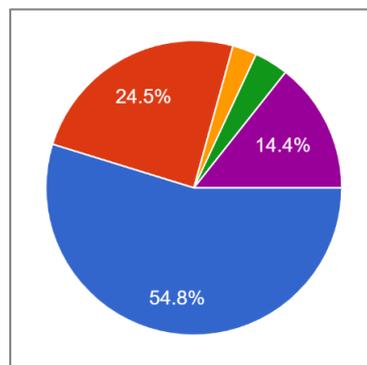
指標9（学校と家庭の連携）では、肯定的な回答が86.2%でした。引き続き、児童に関する様々な状況や課題について、各家庭と密に連携を取り合うとともに、児童一人一人のよりよい成長の支援に取り組んでいきたいと思ひます。

## 学校評価集計（保護者） 「仲間とみがく」に関するもの

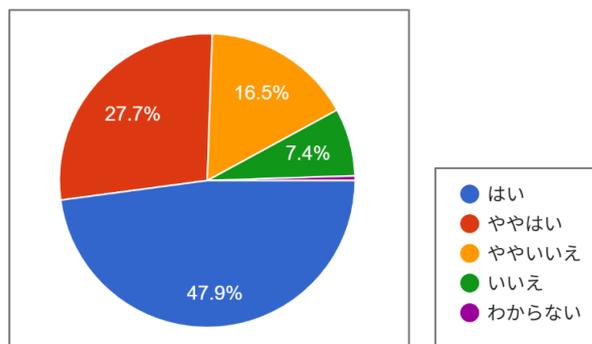
11.お子様は、グループやクラス、ふれあいタイムなどでの話し合い活動に進んで参加していると言っていますか。



12.お子様は、係や当番活動、クラブ活動（４・５・６年生）、委員会活動（５・６年生）などに、積極的に参加していると言っていますか。



13.お子様は、積極的に体を動かし、外遊びや運動をしていますか。



### 考察

「仲間とみがく」の項目に関する評価は、各指標における肯定的な回答の割合は、75.6%～79.3%の範囲となりました。特に指標12（係・当番活動等への参加）では、「はい」の回答が54.8%となり、学級集団や異学年集団における活動に、積極的に取り組んでいることが分かります。

指標13（外遊びや運動への参加）では、肯定的な回答が4分の3になりました。様々な集団と関わりながら、体を動かして活動することは児童の発達について大事なことです。どの児童も無理なく参加できる内容や指導法を工夫しながら、引き続き効果的な取組をさぐっていきたいと思います。

教育活動アンケート（保護者）には、各評価指標に加え、学校運営全般に関する自由記述欄を設けました。回答者保護の観点から個々の記述の公表は控えますが、その内容を職員で共有し、よりよい学校づくりに役立てていることを、併せてご報告いたします。なお、何らかの対応を、全ての記述に対して行うのではないことを申し添えます。

最後になりましたが、教育活動アンケートご回答へのご協力に心より感謝申し上げます。今後とも本校教育活動推進へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 【参考】

学校関係者評価の結果について、俵口小学校では、地域の方や保護者の代表、学識経験者等を委員とし、学校運営協議会と学校関係者評価委員会とを兼ねて年3回実施しています。第3回のこの会において、学校関係者評価としての学校運営状況等に関するご意見やご質問をいただきました。その概要を以下に掲載し、ご報告に代えさせていただきます（「・○○○…」は委員の方からのご意見やご質問、「→○○○…」は学校からのコメントです）。

### 教職員による学校自己評価について

・教職員のアンケートを見ると、「考えをみがく」に関するもので赤色の「ややはい」の回答が見られますが、青色の「はい」にできない外的要因があるのでしょうか？

→アンケートの回答内容について、個別に教員から話を聴くことはできます。

・教職員も研修等レベルアップする機会がありますか？

→3学期、端末の入れ替えに伴う研修を市の指導主事を招聘して行いました。その他、日々教職員間で情報共有しながら、自由な雰囲気で行っています。

・学校評価の集計を見ると、読書活動に課題があるように思います。先生にも苦手意識があるのでしょうか？先生側の原因を確かめてはどうでしょうか。

・読書に関しては、デジタル図書を活用してはどうでしょうか。

・児童の相談体制ですが、待っていても子どもからは言っていないのではないのでしょうか。民生委員もこちらから家を訪問して相談にのるようにしています。

→児童の相談体制について、貴重なご意見ありがとうございました。

・幼稚園のメンバーが変わっても連携がゼロからにならないように組織づくりをしていきたいです。これからも、幼稚園と小学校の近さを生かしていきたいと思います。

### 児童用教育活動アンケートについて

・自分の子どものことは分からない。いじめは親も気づかない。先生も気づかないことがあります。いじめは発見するのが難しいと思います。

→いじめは担任一人で解決しようとせず、生徒指導部を中心にチームで対応しています。

・俵口小学校は、縦割り活動がさかんで、子どもを育てる大きな要因になっているのではないかと思います。スライドの写真を見ていると、子どもたちがいい顔をしています。このような異学年の交流が大事ではないかと思いました。

→保護者の方々が寛容であり、その雰囲気が子どもたちにも影響していると思います。

・保護者用教育活動アンケートについて

・正門のことですが、施錠できるようにすることは大切であると思います。また、中庭の整備も子どもたちのより良い環境づくりとして良いのではないかと思います。

→学校としては、教職員とも常に門を閉めるように共通理解しています。電子錠については、生駒市にも引き続き働きかけていきたいと思っています。また創立50周年に向けて、様々な方のお力を借りながら、中庭をはじめとした環境整備を進めていきたいと思っています。